

令和 5 年度大阪府がん対策推進委員会
第 1 回がん検診部会（概要）

1. 日 時：令和 5 年 7 月 20 日（木）18 時～20 時
2. 場 所：大阪がん循環器病予防センター 6 階研修室
3. 議 事：
 - （1）第 3 期大阪府がん対策推進計画 最終評価（案）について
 - （2）第 4 期大阪府がん対策推進計画（素案）について
 - （3）その他
4. 委員からの意見要旨と審議結果
 - （1）第 3 期大阪府がん対策推進計画 最終評価（案）について【資料 1】

【概要】数値目標に対する評価・これまでの取組み状況・次期計画に向けた課題・最終評価の総括について報告。

【意見要旨】「たばこ対策について」

○首都圏においては、府下よりも対策が進んでいるように思えるが、府から働きかけて路上での受動喫煙の機会を減らすことはできないか。

○子どもや家族から言われると、家庭内で吸わなくなり、禁煙につながる場合もある。子どもの健康を禁煙の動機にする等、啓発に工夫してはどうか。

【審議結果】承認。

【意見要旨】「がん検診について」

○乳がんの精密検査受診率は元々非常に高く、最終報告の評価は B だが、これ以上、上げるのは難しいようなレベルに達している。他の 4 がんと比較しても突出して高い。この乳がんの精密検査受診率が優れている背景を探れば、他の 4 がんの率を変えるヒントがあるかもしれない。

○大腸がんや子宮頸がんなど、一次検診を実施した医療機関が二次検診に対応できない場合もある。一次検診、二次検診を同じ医療機関で実施できるようにするためには、行政や医療機関の協力が必要。

○胃がんの精密検査受診率がベースラインより下がっているが、内視鏡検診を敬遠することが関係しているのか。

○大腸がん及び子宮頸がん検診について、今後は同じ医療機関で一次検診・二次検診を受診できる環境整備が必要。各医療機関の協力、がん検診に対する意識向上も重要。また、二次検診を集約化することも 1 つの考え。

【審議結果】承認。

- （2）第 4 期大阪府がん対策推進計画（素案）について【資料 2、3】【参考資料 2、3】

【概要】大阪府におけるがんの現状と課題、個別の取組みと目標について報告。

【意見要旨】「たばこ対策について」

○喫煙率の目標について、高いに越したことはないが、そうなると抜本的に非常に大きなことをしていかなければ厳しい数字に見える。若年層などターゲットを定めた数値目標

を設けてはいかがか。

○店舗の改装時が喫煙可能店から禁煙店に切り替えるチャンスではないかと思う。

【審議結果】承認。

【意見要旨】「がん検診について」

○第5章の個別の取り組みの部分に、ぜひともキャッチアップ接種のことを加えていただきたい。

○5がんのコアターゲットに対するリコール方法の検討や職域に対する働きかけが必要。また、市に精度管理委員会を作ってもらおうということがあれば圧倒的に受診率が変わると思う。

○企業の健康経営との連携について検討してほしい。

○がんの1次予防のヘリコバクター・ピロリ菌の除菌については、具体的には国のほうではどのような方向に進みつつあるのか。

○肺がんの二次読影の精度は、胸部X線画像のクオリティに依存される。長い年月で見ると画像をチェックするAIのようなものを組み込んでいくほうが効率化できるのでは。

○企業によっても、がん検診に対する意識の差がある。今後、マイナンバーによって府民のがん検診受診率が把握できれば、職域での受診率も把握できるのではないか。

【審議結果】承認。